

8-4-13 海岸・海洋専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

海洋分野の新たな市場開拓を主な目的として沿岸域の総合的な管理等に関わる情報収集、情報交換等の委員会を8回(4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、1月)開催した。

(2) 兵庫県神戸市須磨海岸の現地視察の実施

古くから海岸侵食対策事業が実施され、関西有数のビーチとして広く利用されている神戸市須磨海岸に対し、地域に根ざした沿岸域管理と海岸域のまちづくりのために建設コンサルタントが担うべき役割等を議論することを目的に、現地視察と意見交換会を令和元年10月5日(土)に実施した。意見交換会では、大阪大学大学院青木 伸一教授及び高知工科大学 佐藤 慎司教授、神戸市職員3名と公募参加者の建設コンサルタント12社13名、委員会委員11名が参加し、今回の現地視察の結果を踏まえ、観光やリゾートと海岸事業のあり方、「Park-PFI」など多面的に整備が推進される新たな手法について、有意義かつ活発な意見交換が行われた。

(3) 海岸・海洋セミナー(第11回)の開催

神戸市須磨海岸の現地視察、地域コンサルタントと学識経験者、委員会委員との意見交換会を踏まえ、海岸を観光資源として活用した背後地との一体的な整備の推進、ビーチリゾートとして海岸利用に配慮した海岸事業のあり方を考え、建設コンサルタント業務の拡大と役割について考えることを目的として開催した。

a) テーマ:「ビーチリゾートとしての海岸利用に配慮した海岸整備のあり方」～神戸市須磨海岸を事例として砂浜の役割を考える～

b) 日時: 令和元年11月22日(金) 13:15～17:00

c) 場所: 大阪大学中之島センター 講義室703

d) 参加者数: 55名

e) 講演概要

【講演1】「神戸市と須磨海岸の歩み」

神戸市竹本氏・榎本氏・茗荷氏

須磨海岸の概要と整備事業、須磨海浜水族園や再整備事業についての取り組みを紹介いただいた。特に、都市公園法改正により新たに設けられた「Park-PFI」の事業手法などの内容について詳しくご講演いただいた。

【講演2】「人工海浜の整備と管理について」

大阪大学大学院工学研究科 青木 伸一教授

海水浴場の安全性に関する研究成果をご説明いただくとともに、須磨海岸における海岸の変遷と緩勾配化、近年の海岸管理としての唐船サンビーチの事例、情報化時代の海岸管理についてご講演いただいた。

【講演3】「砂浜の利活用の更なる促進に向けて」

高知工科大学システム工学群 佐藤 慎司教授

海岸と観光をキーワードとして日本の海岸における観光利用の事例、高知海岸における海浜変形の状況及び利用状況、また日本におけるビーチリゾートの創出についてご講演いただいた。

【総合討議】

海岸・海洋セミナーの講演者と参加者より、次のような意見と提案を頂いた。

- ・海岸管理者と背後地を管理する市町村の垣根を超えた取組み
- ・津波や高潮等ハザードの特性に応じた対策
- ・海岸の魅力を配信できるライブカメラの配置
- ・平常時における海域環境の現象解明
- ・海岸整備の経験や知見を有する建設コンサルタントが発言できる機会の創出

(4) RCCM 自主学習教材の改訂について

RCCM 自主学習教材に関し、「河川、砂防及び海岸・海洋」の講義の一部資料の改訂を行った。

2. 次年度の活動について

これまでの活動内容を踏まえ、以下の活動を継続的に行う予定である。

- (1) 沿岸域の総合的な管理に関わる情報収集と検討課題の把握
- (2) 海岸の現地視察と意見交換会
- (3) 令和2年度海岸・海洋セミナーの開催による技術情報の発信
(海岸・海洋専門委員会委員長 加藤 憲一)